中野キャンパス　〒298-0271 千葉県夷隅郡大多喜町中野 589　TEL:0470-830830　FAX:0470-64-6350

Building Character

# 三育学院中学校

２０２２年２月号

## 『　縦 軸　』

2/6　第２回 TED x JAA（プレゼン大会）

群馬県の郷土かるたとして有名な『上毛かるた』というものをご存じの方も多いかと思います。このかるたは、戦後ＧＨＱの指令によって、地理と歴史の授業が停止されていた時代に、浦野匡彦氏（二松学舎大学学長）によって編纂されたものです。この中に「平和の使徒（つかい）　新島襄」とか「心の灯台　内村鑑三」といった札も出てきます。群馬県に所縁のある人物ではあっても、クリスチャンの名前がかるたに出てくるのは珍しいなと思っておりましたが、成り立ちを調べてみた中で、浦野氏が、安中出身のキリスト教伝道者、須田清基と出会い、かるたを通じて群馬の歴史、文化を伝えることを提案されたことが、きっかけであったことを知って納得しました。(www.kingofjmk.jp)

ここにも出てくる内村鑑三は、日本の思想界に大きな影響を与えた人物です。彼の著作の一つである「代表的日本人」という本は、私にとっても大切な一冊となっています。彼の果たした役割について、隅谷三喜男氏（東京大学名誉教授、成田空港問題で奔走したクリスチャン経済学者、東京女子大学学長）が、その著書の中でこんな言葉を残しています。「縦軸のない日本社会は、・・元来浮遊することをもって良しとしてきたのである。流れに棹させば流されるのである。戦後民主主義は縦軸の代用物の役割を果たしてきたが、流れの速さに押し倒されようとしている。・・縦軸のないところでは横軸の流れだけが方向を決定する。・・そこに今日の日本の真の危機がある。座標軸の構築こそが、内村が日本の思想史に残した遺産であり、その再構築が今問われている。」*隅谷三喜男『日本プロテスタント史論』146p*

「縦軸のないところでは横軸の流れだけが方向を決定する」という指摘は、時代が移り変わった今日の私たちにとっても警鐘です。

日本の学校教育には、いまだに各時代に応じて、国とその時代を維持するために必要となる**人材**を効率よく生み出すことに重きを置いた「横軸」重視の風潮が続いています。しかし、本当に求められているのは、しっかりとした「縦軸」を持った**人物**であり、それをおろそかにしたままの学校教育では、目指すところがどこであるのかを知らずに子供たちを大海原に押し出しているようなものであると感じます。

三育学院は、この「縦軸」を神と人との関りに置く学校です。世界がどのように変わろうともぶれることない縦軸を持った人物を世界は、求めていると確信するものです。

「**世界で最も欠乏しているものは人物である**。それは、売買されない人、魂の奥底から真実で、正直な人、罪を罪とよぶのに恐れない人、磁石が南北を指示して変わらないように、良心が義務に忠実な人、天が落ちかかろうとも正しいことのために立つ人、――そういう人である。」*E.G.ホワイト『教育』54p*

どうか、あなたの父の神があなたを助け　全能者によってあなたは祝福を受けるように。
（創世記４９章２５節）

久我原キャンパス　〒298-0297 千葉県夷隅郡大多喜町久我原 1500　TEL:0470-84-0111　FAX:0470-84-0076